

①事業の基礎情報

事業名	防犯対策推進事業				担当部・グループ名	都市政策部 都市防災グループ				
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	神谷 義直				
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-1111(内線 282)				
総(計画(資本計画)体系	個別目標	(9)安全・安心が実感できる地域づくりを進めます				予算・事業上の 予算書上の 事業名	款	2款 総務費		
	こんなことに取り組みます	「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」をふまえて、地域・警察・関係機関と連携し、事件・事故の未然防止活動を推進します。					項	1項 総務管理費		
							目	16目 防犯対策費		
	みんなで目指すまちづくり 指標名	人口 1,000 人あたり犯罪発生件数					事業名	1 防犯灯施設事業 2 防犯活動推進事業		
現状値 (H25)	12.9	実績値 (H26)	8.5	実績値 (H27)	7.5	実績値 (H28)	目標値 (H29)	12.0 以下	(単位) 件	
				総合戦略		□該当する ■該当しない				

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★高浜市防犯ネットワーク会議、町内会、まち協などの各種団体と碧南警察署と行政が連携し、地域と共に防犯対策を進める。		
	★防犯啓発活動や防犯パトロールなどの防犯活動を通じて、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図る。		
	★子どもや高齢者を対象とした防犯講演会や防犯教室を開催し、自助の意識を高める。		
対象(誰・何を対象に)	市民、地域、事業者、関係機関、行政	対象の数量	46,373 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆防犯意識が向上し、市民・地域・事業者・関係団体と行政が連携した防犯活動に取り組んでいる。		
	☆誰もが安全で安心だと感じながら暮らしている。		
	☆街頭犯罪の発生件数が減少している。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額	主な内容		
事業費総額 (千円)		33,188	29,660	・防犯灯光熱水費 15,841 千円	
財源内訳	一般財源	33,188	29,660	・防犯灯修繕費 1,011 千円	
	特定財源	国・県支出金	—	—	・防犯灯工事請負費 6,365 千円
		その他	—	—	・防犯カメラ設置工事費 1,761 千円
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業	・夜間パトロール業務委託 3,932 千円 ・碧南高浜防犯協会補助金 750 千円	



▲防犯少年団を交えての特殊詐欺撲滅啓発活動



▲防犯カメラ設置 (三河高浜駅西口)

#### ④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆青色防犯灯パトロール（地域団体、委託業者）を実施した。	H27.4～	犯罪発生件数の減少
	◆パトネットあいちにより、地域安全情報を提供した。	H27.4～	犯罪発生情報等の提供
	◆防犯講話、防犯教室などを開催した。	H27.4～	防犯意識の向上
	◆防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施した。	H27.4～	—
	◆犯罪発生の抑止を目的として、市内3駅に防犯カメラを設置した。また、ライオンズクラブからの寄贈により、高浜ふれあいプラザにも防犯カメラを1台設置した。	H28.2	犯罪発生の抑止 犯罪発生時の確認
参画・協働・ 情報共有の工夫	★自主防犯活動に取り組んでいる団体（町内会、まちづくり協議会）が参加する防犯ネットワーク会議を立ち上げ、碧南警察署、行政と協働し、防犯活動を展開している。		
	★まちづくり協議会などへ犯罪発生情報を提供するなど、情報共有に努めている。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆青色防犯灯パトロール（地域団体、委託業者）の実施等により、市内の犯罪発生件数が減少した。		
	☆パトネットあいちにより、地域安全情報が迅速に提供できた。		
	☆防犯講話、防犯教室などを開催により、市民の防犯意識が向上した。		
	☆防犯灯の新設・維持管理により、地域の防犯対策の一助となった。		

#### ⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 防犯パトロールなどによる犯罪抑止活動の推進</u> ・誰もが安心して暮らすことができる犯罪のないまちを実現するため、関係機関が連携して防犯活動に取り組む必要がある。	・高浜市防犯ネットワーク会議、町内会、まちづくり協議会、碧南警察署等が連携した防犯対策を進めるため、青色防犯灯パトロールや防犯パトロールを継続する。また、犯罪の発生が比較的多い市内3駅等に設置した防犯カメラの効果を検証する。
<u>(2) 子どもや高齢者に対する防犯意識の高揚</u> ・多様化・複雑化する犯罪被害に巻き込まれやすい子どもや高齢者等に対する防犯意識を高める必要がある。	・振り込め詐欺などの被害にあわないよう、碧南警察署と協力し、子どもや高齢者を対象とした防犯講話、防犯教室等を開催する。
<u>(3) 防犯灯などの適正管理</u> ・経年劣化に伴う防犯施設の点検や球切れなど、適正管理に努めていく必要がある。	・老朽化した防犯施設について、市民や地域からの防犯灯の球切れ情報や防犯灯の新設要望に対し、迅速に対応するとともに適正管理を行う。

#### ⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに(年月)
計画(案)	◆防犯講話、防犯教室などを開催する。	H29.2
	◆青色防犯灯パトロール（地域団体、委託業者）を実施する。	H29.3
	◆防犯灯など防犯施設の新設・維持管理を実施する。	H29.3
	◆パトネットあいちにより、地域安全情報を提供する。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆自主防犯活動に取り組んでいる団体（町内会、まちづくり協議会）が参加する防犯ネットワーク会議、碧南警察署、行政が協働し、防犯活動を展開していく。	
	☆まちづくり協議会などへ犯罪発生情報を提供するなど、情報共有に努めていく。	

特記事項